

石井正己さん講演会

関東大震災
- 若山喜志子と潮みどり -



2025/9/14(日)

14:00-16:00(開場13:30)

参加費/無料 定員/130人(先着順)

会場/市民交流センター
(えんぱーく) 3階 多目的ホール

1923年に関東大震災が起こったとき、歌人では、東京に与謝野晶子・窪田空穂、保田に原阿佐緒、小田原に北原白秋、塩尻に島木赤彦がいた。

沼津にいた若山牧水・若山喜志子は、弟子の大悟法利雄を首都圏に送り出し、横浜で被災した長谷川銀作・潮みどりの様子を伝えた。ここで、塩尻出身の喜志子・みどりの姉妹が大災害と向き合った様子をお話する。

申込み

申込開始：8月15日(金)

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、メールのいずれか。メールの場合は下記の内容をお送りください。

- 宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件名 「9/14 本の寺子屋申込」
本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ



講師 石井 正己(いしい まさみ) 東京学芸大学名誉教授

1958年東京都生まれ。国文学者・民俗学者。近刊の著書に『旅する菅江真澄』『文豪たちが書いた関東大震災』『源氏物語 語りと絵巻の方法』、編著・校注に『菅江真澄 図絵の旅』『世界の昔話を知るために!』『柳田国男自伝』など。

塩尻では、これまでも菅江真澄・柳田国男・島木赤彦について講演会をおこなう。